

■ イザヤ書 9 章の背景

紀元前 735 年頃、イスラエルは北のイスラエルと南のユダとに分裂していました。当時、アッシリアは最も勢いのある国の一つで、北イスラエルとその隣国のアラムにまで勢力拡大しようとしていました。そこで、北イスラエルとアラムは同盟を結び、アッシリアに対抗しました。

この 2 つの国は、「南ユダも同盟に加わって欲しい」と南ユダの王アハズに要請しました。しかし、アハズはその提案を断り、むしろ帝国アッシリアと同盟を結んだのです。すると、北イスラエルとアラムは、先に南ユダを倒すことにしました。

■ メッセージのポイント

今日の箇所は、預言されていたメシアがどういうお方であるかを語っています。

(1) 預言されていた誕生ーイエス・キリストの誕生は突然起きた出来事ではありません。

その誕生が預言者の書に記されたのは 700 年前のことでしたが、永遠の昔から神のご計画がありました。

(2) メシアはどんな方でしょうか。ー「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる方です。

(3) メシアはどんなことをするでしょうか。ーメシアはその肩にある主権を持って、神の御国の為に働きます。さばきと正義によってその王国を治めておられます。